

## 森林文化アカデミーの

### 実務者向け研修の取り組み

～専門技術者研修(木造建築技術者向け)について～

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ● 小原 勝彦

#### ●はじめに

森林文化アカデミーでは実務者向けの研修「専門技術者研修」を行っています。その木造建築技術者向けの研修として、大きく3つの研修を行っています。

#### ●許容応力度計算演習

現在、木造建築の構造設計を担える人材が少ない状況であり、構造的な判断に戸惑う設計士さんも非常に多いため、簡易な構造計算を学ぶ研修として、「①許容応力度計算演習」を実施しています。

2階建て木造住宅のモデルプランを通じて、木造建築の許容応力度計算を手計算で演習します。木造建築の許容応力度計算の流れを知ることが目的の研修です。

#### ●構造性能検討ツール演習

構造検討を難解と思われる設計士さんも非常に多いため、構造性能

を手軽に検討することを学ぶ研修として、「②木造建築構造性能ツール演習」を実施しています。

参加者の皆さんが持参したノートパソコンで木造建築の性能を検討する演習を行います。パソコンを利用することで、木造建築の性能検討を比較的容易にできるようにすることが目的の研修です。近年ではWall Stat Studioを利用した解析を行い、講習会にてその発表報告をする内容です。

#### ●これからの木造建築構造を考える

木材や木造建築について就業先の業務を超えた広域的な学びの機会をつくるのが難しい状況であるため、木材や木造建築に関して先導的な情報や、川上・川中・川下からエンドユーザーまでに関する幅広い知識を得る研修として、「③これから木造建築構造を考える」を実施しています。

木造建築の現状について情報共有し、これからの木造建築のあり方に

ついて考えることを目的とする研修です。「木造建築や木材に関わるパネラー」による話題提供の後、意見交換会を行う内容です。県内外、場合によっては海外からパネラーをお招きしています(表1)。主なテーマは、プレカット、輸出、耐震性、建築振動、中大規模木造、土木利用、改修・移築、改正法対応、などとしています。

#### ●今後の展開

林業や木材、木造建築分野の企業や教育機関・研究機関・行政機関と連携した研修(例えば、現場視察等)や、県有施設を利用した研修(例えば、実験視察)の他、海外組織とリンクした研修実施を考えています。しかし、10年ほど前からいろいろなおことを試行的に実施し始めているところですが、開催時期や予算、手続き等の課題があり、体系的な実施には至っていません。

表1 近年の専門技術者研修テーマ

研修テーマ	講師(所属)
◆木造建築耐震セミナー「許容応力度計算演習」	福本 満夫氏(福・木構造設計- 代表)、小原 勝彦(岐阜県立森林文化アカデミー)
◆木造建築構造性能検討ツール演習	森本 豊茂氏、小原 勝彦(岐阜県立森林文化アカデミー)
◆これからの木造建築構造を考える(主なもの以下に示す。)	
韓国における木材輸出取組と木造住宅の設計・施工の問題点	園田 真吾氏(都築木材株式会社 松本支店長)
改正法における木構造で対応すべきこと～岐阜県産ヒノキ横架材デジタルスパン表～	小原 勝彦(岐阜県立森林文化アカデミー)
非住宅施設の木造化にかかる低コストマニュアル・事例集について	河本 和義氏(NPO法人WOODAC 代表理事・TE-DOK一級建築士事務所 主宰) 塩田 佳子氏(NPO法人WOODAC 理事・スタジオすうぶ一級建築士事務所 主宰)
建築設計から関わる木材輸出	川添 英司氏(ゆうぼく人 代表)
木材・木質材料の土木利用の現状と課題	佐々木 貴信氏(北海道大学大学院 農学研究院 木材工学研究室 教授)
木材の特性と木質構造物の耐久性	澤田 圭氏(北海道大学大学院 農学研究院 木材工学研究室 講師)
中大規模木造建築の現状と今後	栗村 晋規氏(後藤木材株式会社 取締役)、福本 満夫氏(福・木構造設計- 代表)
WallStatについて	中川 貴文氏(京都大学 准教授)
韓国での木造建築再定着に寄与する軸組構法輸出戦略の提言及び検証	黒井 博美氏(モックウ江舎 代表)
韓国での木造建築技術について	キム・ビョンファン氏(韓国 GE-Group 代表)
岐阜県博物館「旧宮川家住宅保存活用計画」策定と旧徳山村移築民家について	南本 有紀氏(岐阜県博物館)

専門技術者研修は、アカデミー学生にとっても卒業後にも学び続けることができる機会になります。専門知識や技術について継続的な向上ができる人材育成をアカデミーが担っていきたいと考えています。